

医学部保健学科 アセスメント・ポリシー

医学部保健学科は、以下の指針をもとに、学生が修得した知識、技能ならびに態度を多面的に評価するとともに、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに則して、カリキュラムや教育内容が適切に構成され、効果的な教育方法等によって実行されているかを検証します。

1. 評価の内容

講義科目や演習科目では、知識とその応用力を評価します。実験・実習科目では、技能、態度、コミュニケーション能力等についても評価します。

2. 評価の方法

知識とその応用力に関しては、筆記試験や課題レポート等により評価します。また、科目によっては外部試験（TOEIC, TOEFL, 資格試験等）も評価に活用します。技能は実技試験、その他の能力は臨床実習・臨地実習評価（レポート、実習評価表、実習指導報告書および自己評価等を取りまとめたポートフォリオ）で評価します。

3. 評価の基準

筆記試験、実技試験等は数値化して達成度を評価します。臨床実習・臨地実習評価では、可能な限り数値化できる評価法を用いて達成度を評価します。科目の成績は、次に示す評語（S, A, B, C, D（不合格））で評価します。

評語と評点、及び評価基準表		
評語	評点（100点満点）	評価の基準
S	90点以上	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている
A	80点以上, 90点未満	基本的な目標を十分に達成している
B	70点以上, 80点未満	基本的な目標を達成している
C	60点以上, 70点未満	基本的な目標を最低限度達成している
D	60点未満	基本的な目標を達成していない

4. Grade Point Average (GPA)

GPAによる成績評価方法を導入し、学生個人および科目の達成度の評価に利用します。また、表彰制度や大学院進学等の進路指導に関する判断資料として活用します。

5. 科目合否判定や進級あるいはまた卒業時の判定に用いる総括的評価に加え、形成的評価を随時行うことで到達目標に至る道程を明らかにします。

6. 再試験および追試験

試験で、所定の到達目標に達しなかった場合は、再試験を行うことがあります。また試験を何らかの正当な事由で受験できなかった場合は、追試験を行うことがあります。

7. 出席条件

科目履修は出席することが前提ですので、出席状況は評価の対象にはなりません（出席点はありません）。試験を受けることのできる者は、当該授業科目の 2/3 以上出席した者とします。ただし、実験、実習または実技の授業科目については 4/5 以上出席した者とします。

8. 情報の開示

科目 GPA の情報を学生に公開します。また、個々の成績評価に関し、学生からの照会に応じます。さらに、進級・卒業の要件の詳細は別に定めて明示します。

9. 点検と改善

評価方法の選定と基準の設定にあたっては、その妥当性、客観性ならびに実現可能性を考慮し、学務委員会にて定期的に見直しを行います。さらに、科目 GPA の平均値および分布の状況を学務委員会で点検し、教育内容および教育方法の改善につなげます。